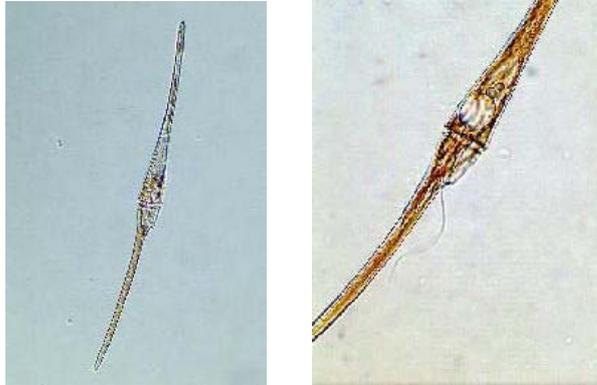


セラチウム フスス

赤潮生物種 : *Ceratium fusus* (Ehrenberg)Dujardin
渦鞭毛藻綱ペリディニウム目セラチウム科



- 大きさ : 長さ300～600 μ m, 巾15～30 μ m
- 細胞の形態・色 : 上殻は先端ほど細くなり, 細長い頂角を形成し, 細胞全体は, 背部の方に弓形に弱く曲がっている。
- 遊 泳 : あまり回転をせずにするようにゆっくり直線的に泳ぐ。
- 類似種 :
- 赤潮発生時期 : 2月下旬～6月, 赤潮発生期間は長期化する傾向がある
- 赤潮発生海域 : 鹿児島湾
- 出現環境 :
- 被 害 : 鹿児島湾で1990年及び1991年に養殖ブリ類に被害が出た,
- 特記事項 : 比較的常時見られる普通種である。致死細胞は数千細胞/ml前後。本種によって曝露された魚はシャットネラ マリーナのように急激に大量死することは少ないが, 鋭利な細胞外殻を持った本種が魚の鰓に刺さり, 呼吸困難に陥らせることがある。
晴天時は中層(5～10m)付近に細胞数の極大があり, 曇天時は表層付近に細胞数の極大がある。よって, 表層付近に細胞が少なくても, 給餌や出荷に伴う養殖魚の興奮により中層付近に多くあった細胞が表層付近へ急激に巻き上げられることがあるため, 細胞数が多いときは給餌や出荷を控えることが望ましい。